

種目【英語】調査研究資料

調査項目	着眼点	調査の方法
1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むこと	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> 扱う語彙数や5領域を育成する言語活動の程度や分量は、どのようであるか。 上記の活動に取り組む上で、どのような構成・配列上の特徴があるか。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等を育む、どのような活動が取り上げられ、程度や分量はどのようであるか。 上記の活動に取り組む上で、どのような構成・配列上の特徴があるか。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促すとともに、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> 主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うために、どのような題材が取り上げられているか。
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で自ら学習ができるように、どのような内容が取り上げられ、構成が工夫されているか。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 英語で理解したり表現したりする内容として、どのような社会的な話題を提示しているか。 小学校での学習との接続に留意し、どのような内容が取り上げられ、程度や分量はどのようであるか。 	
4 印刷・製本等にかかわること	(1) 教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の判型、重量、厚み、総ページ数等はどのようであるか。
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> 障がいその他の特性の有無にかかわらず、どの生徒にとっても学びやすいものになっているか。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が活用できる付録や巻末資料等には、どのような特徴があるか。

調査項目・着眼点の根拠

■ 中学校学習指導要領（平成29年告示）
 第1章 総則 第1 2
 (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。

■ 岐阜県教育振興基本計画（2019年3月）
 基本方針3
 目標11「これからの時代に求められる資質・能力」の育成